

志田雄一郎

区議会レポート
2020年 秋



編集・発行：立憲民主党・無所属クラブ

住所：新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区役所 5階

電話：03-5273-3555 FAX：03-3209-1077

(しだ・ゆういちろう) 1967 (昭和42) 年新宿区生まれ。現在6期目。
環境建設委員会、オリンピック・パラリンピック文化観光等特別委員会に所属。

◎令和2年 8月 補正予算より主な5項目のお知らせ

新型コロナウイルス感染症に対応する補正予算案を審議するため、区議会臨時会が開かれました。今回の補正予算額は、総額約22億円です。

1、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、従業員等5人以上の感染者が判明した店舗等施設に休業の協力要請を行い、休業に応じた場合に協力金を支給します。

・店舗等施設一事案につき500,000円

期間：7ヶ月間（令和3年3月末日まで）

従業員等の「等」にはお客様も、店舗等の「等」には学習塾なども含まれます。

2、新生児子育て応援臨時給付金

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、不安を抱えながら出産を迎えた子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するため、新生児子育て応援臨時給付金を支給します。



・対象：令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した子を同一世帯で養育する者で住民基本台帳に記録されている者(令和2年8月28日以前の転出者を除く)

・金額：100,000円/児童

特別定額給付金の支給対象にならなかった令和2年4月28日以降に生まれた新生児が対象者になります。区からご案内が届きますので、忘れずに申請して下さい。

区政相談受付中！

ご意見・ご要望は…

TEL・FAX 03-3355-0546

yuichiro.shida@gmail.com

新宿区議会議員

志田雄一郎

身の回りや地域でのお悩みはありませんか？その一つ一つを解決した積み重ねが街をよくするとの思いで活動しております。お気軽にご連絡ください。



3、新型コロナウイルス感染症の検査体制を強化

新型コロナウイルス感染症の検査体制を強化するため、唾液によるPCR検査及び、抗原検査を実施する区内医療機関に協力金を交付します。

- ・ 1検体あたり3,000円の協力金

医療機関が区に申請手続きを行うため、検査を受診する方の手続きは必要ありません。

以前、私のかかりつけ医からも「検査体制の充実」を求める声がありました。この補正予算は積極的に検査を行うという区の姿勢が見てとれます。

もっと気軽に、安価に検査を受けられるような環境を整えることが必要です。今回の取り組みは、その第一歩といえると思います。

4、インフルエンザ等対策の推進

冬季に流行するインフルエンザウイルスによる感染症予防と重症化を防ぎ、医療体制への逼迫を回避する取組として、令和2年度に限り、高齢者及び子どものインフルエンザ予防接種の自己負担額を免除します。

- ・ 対象

65歳以上の者

60歳～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に重度の障害があり、
予防接種を希望する者（身体障害者手帳 1 級程度）

13歳未満の者

- ・ 接種期間

令和2年10月1日～令和3年1月31日



重症化しやすい層をインフルエンザ感染から予防し、医療体制の逼迫を回避するための取り組みです。対象者は区内医療機関での予防接種が無料で受けられます。事前手続き等はありません。

5、ICT（情報通信技術）を活用した教育環境の充実

多様な子どもたち一人一人の資質や能力を一層確実に育成するため、ICTを活用した教育環境を整備します。

- ・ 児童・生徒及び教員へタブレット端末 を1人1台配付

会派において、早期のタブレット端末の整備を求めてきたことから、今回の、取り組みを評価します。これまで新宿区では、小3から中3で環境の整わない児童、生徒へタブレット端末を貸与し、休校等におけるオンライン学習支援を行なっていましたが、機器に不慣れな児童、生徒などが置き去りにされる、情報の中身に対する不満や不足を訴える声を耳にします。

また、来年度から始まるGIGAスクール構想に基づくタブレット端末の整備では、もう一段階レベルアップしたものが用いられ、運用も充実したものを考えているとのこと。

今年度の取り組みによるデータや課題をしっかりと受け止め、円滑かつ効果的な運用が進むよう次期の活用を見据えた取り組みに期待します。